

# 光栄の森

平成24年2月 毎月1日発行 第44号

発行者 光栄プロテック 木之下

## 厳冬の月に

代表取締役 三田雅憲

寒さが厳しい折、皆様体調はいかがですか？寒さに負けずお互いがんばりましょう。

さて、年頭に会社の朝会にて、社員たちに今年の目標を考えてくると話をしました。目標といえば、ある若手のマルチタレントさんがNHKのラジオで次のような話をされていました。“自分は、毎年自分のもてる力を精一杯精一杯がんばって運がよければ叶うのではないかという目標をいくつか決めてトイレの扉の内側に貼る”のだそうです。そしてトイレに入るたびにその目標を見て自分を鼓舞するのだそうです。今があるのはそういったちいさな努力の積み重ねの上にあるということ話をされていました。才能のある人が次々生まれ出ては消えていく芸能界にあって、第一線でやっていくことはそれ相応の努力と良い縁や運がないとやれないと思います。そういった人々の言葉は重く感じます。

紫綬褒章を受章し、ますます活躍中の俳優市村正親さんも以前テレビで同様の話をされていました。

運を呼び、それを自分の手に入れるためには、自分に厳しい面をもたないといけない。そのためにも自分(今年62歳)は20代や30代の若手と一緒にダンスなどのハードな練習をして自分を厳しく鍛えているのです。厳しく何事も努力したときに運が寄ってくるのではないかと考えている。

新しいパートナーとの出会いがあり、今では2人の子の親になれたことも喜んでおられました。子どもさんの誕生日には手作りのプレゼントを贈られているそうです。自分の人生を精一杯がんばることですばらしい喜びが与えられるとの話でした。

芸能界ほどのハードな目標ではないにせよ、自分にとっての大きな目標を掲げてそれに邁進してもらいたいと社員には願っております。当社にも60歳、はたまた70歳を越えてがんばっている大先輩がおられます。大先輩たちは多くを語ってはくありません。しかし、うしろ姿を見て我々ががんばりたく思います。易い道と険しい道の2つの道に出くわしたときに、険しい道を選ぶようにとの教を心に置き、社員全員がいつかよい運にめぐりあえることを急じています。

今年こそはうれしい年にしたいと誰もが願っていると思います。私もこのところ腹から笑うことが少なくなり、仕事に对しての楽しさを忘れかけています。今年こそこれをぜひ取り戻したいと心から願っております。